

大分県

大分県：性犯罪・性暴力被害者支援体制検討会議の運営（被害者支援体制の構築・強化）

1. モデル事業実施前の課題

性犯罪・性暴力被害者が、被害直後から中長期的な支援を総合的に受けることができる支援体制を構築するためには、関係機関が共通認識を持ち、本県の実情を踏まえた上で、どのように連携体制を整備していくべきかが課題である。

2. モデル事業の内容

ワンストップ支援センターの設置に向けて、関係機関による「性犯罪・性暴力被害者支援体制検討会議」を運営し、支援体制や連携体制の構築について、具体的な検討を行う。

【「性犯罪・性暴力被害者支援体制検討会議」構成員】

- ・公益社団法人 大分被害者支援センター
- ・大分県産婦人科医会
- ・大分県弁護士会
- ・大分県臨床心理士会
- ・大分県福祉保健部医療政策課
- ・大分県福祉保健部健康対策課
- ・大分県福祉保健部こども子育て支援課
- ・大分県中央児童相談所
- ・大分県中津児童相談所
- ・大分県婦人相談所
- ・大分県教育庁人権・同和教育課
- ・大分県警察本部広報課
- ・大分県警察本部犯罪被害者支援室
- ・大分県立病院
- ・大分県生活環境部県民生活・男女共同参画課（事務局）

3. モデル事業実施による成果目標（1の課題に対応するもの）

検討会議を適宜開催し、具体的検討を重ね、平成 28 年度中のワンストップ支援センター開設に向けた準備をすすめる。

4. 実施結果及び成果

モデル事業を活用し、2回の検討会議を開催した。本県における「性犯罪・性暴力対策ワンストップ支援センター」の設置形態や支援体制、支援内容、連携体制等について議論を重ね、概ね固めることができた。

【第1回】

- ・日時：平成27年10月15日（木）14：30～16：30
- ・場所：iichiko 総合文化センター 4階 小会議室
- ・出席者数：21名
- ・議題：①性犯罪・性暴力対策ワンストップ支援センター大分（仮称）の開設と運営について（案）
②今後のスケジュールについて

【第2回】

- ・日時：平成27年12月17日（木）14：30～16：30
- ・場所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ 2階 大会議室
- ・出席者数：22名
- ・議題：①大分県版ワンストップ支援センターについて
②名称について
③今後のスケジュールについて

5. モデル事業実施後の課題（現状）

- ・ 検討会議において、県がめざす支援センターの理念や方針、各機関との個別協議の経過状況等について報告し、関係機関が共通認識を持って検討をすすめていくことができた。
- ・ 今後も、検討会議を適宜開催し、平成28年4月のワンストップ支援センター開設に向け、滞りなく準備をすすめていく。

大分県：支援員養成講座及び先進地研修（被害者支援体制の構築・強化）

1. モデル事業実施前の課題

ワンストップ支援センターの設置には、支援員の養成・確保が最も大きな課題である。性暴力被害に特化した専門的な研修を実施し、被害者に寄り添い、適切な支援を行うことのできる支援員を早急に養成しなければならない。

2. モデル事業の内容

【支援員養成講座】

10月3日（土）	①オリエンテーション ②強姦神話～改めて性暴力とは何か～ ③「支援」とは何か～アドボケートとしてのスタンス～
10月10日（土）	④被害当事者にとって本当に必要な「性暴力救援センター」とは ～性暴力救援センター・大阪 SACHICO 5年間の歩みから見えてくるもの～ ⑤子どもへの性暴力被害の実態 ～レイプ・性虐待・性非行などで SACHICO を訪れる子どもたち～ ⑥ワンストップセンターとしての医療的支援のあり方 ～性暴力被害者を診察するということ～
10月24日（土）	⑦性暴力被害者の心理 ～トラウマと PTSD～ ⑧性暴力被害のトラウマから回復するために ～被害直後からの回復支援を目指す～ ⑨被害者のこれからと人間関係～被害者家族への支援～
10月31日（土）	⑩事例から学ぶ・その1～これまでの講義をふまえたケーススタディ～ ⑪性暴力被害者に対する法的支援の実際
11月14日（土）	⑫事例から学ぶ・その2～これまでの講義をふまえたケーススタディ～ ⑬ロールプレイを通じて学ぶ

※講師は全て性暴力救援センター・大阪 SACHICO に依頼。

3. モデル事業実施による成果目標（1の課題に対応するもの）

性暴力被害者支援に関心のある者が多く受講し、専門知識や技能を取得することにより、支援員として活動ができる人材を養成する。

4. 実施結果及び成果

- 養成講座には、臨床心理士や社会福祉士の有資格者等 20 名が受講した。産婦人科医や精神科医、弁護士等それぞれの専門的立場や経験に基づく講義の他、グループワークを多く取り入れた内容となった。

- ・ 5日間の講座を通して、受講生から「他の受講生の意見をきくことにより、自分の考え方の傾向や弱点を知ることができた」「チームでの支援を改めて考えさせられた」「今回得た知識をぜひ活動に活かしたい」等の感想を得ることができた。
- ・ 先進地研修では、養成講座受講者の中から6名をSACHICOに派遣した。施設を見学し、被害者や支援員の導線、対応状況等について学んだ。更に養成講座で学んだ知識を活かし、実際ケースに基づく相談技法やプランニングシートの作成等について取り組むことができた。

5. モデル事業実施後の課題（現状）

研修を通じて、被害者支援に携わることができる支援員を養成することができたが、支援員の資質向上を図るためには、今後も引き続き継続的な研修が必要である。

大分県：性犯罪・性暴力被害に関する職務関係者研修会（被害者支援体制の構築・強化）

1. モデル事業実施前の課題

適切な被害者支援を行うためには、被害者支援に関わる医療関係者や弁護士等の職務関係者が、被害の特性や支援のあり方、二次被害防止について理解しておくことが必要である。

2. モデル事業の内容

【医療関係者向け研修】

開催日時：平成28年1月24日（日） 13：30～15：30

開催場所：大分県消費生活・男女共同参画プラザ 2階大会議室

対象：県内産婦人科医・看護師・医療相談員等

テーマ：「性暴力被害者にとって必要な医療的支援～SACHICO5年間の活動から～」

講師：性暴力救援センター・大阪SACHICO 代表／産婦人科医 加藤 治子

【弁護士向け研修】

開催日時：平成28年1月28日（木） 17：30～19：00

開催場所：大分県弁護士会館 4階大会議室

テーマ：「性暴力被害者に対する法的支援の実際」

講師：性暴力救援センター・大阪SACHICO 運営委員／弁護士 雪田 樹理

3. モデル事業実施による成果目標（1の課題に対応するもの）

医療関係者及び弁護士に対する、適切な被害者支援についての理解促進。

4. 実施結果及び成果

【医療関係者向け研修】

- ・ ワンストップ支援センター開設に向け、協力依頼をすすめている医療機関の医師や助産師等 13名

が受講した。

- ・ 性暴力とはなにか、ワンストップ支援センターに求められること、SACHICOにおける医療支援の状況、診察時に配慮すべき点等について、様々な事例を通じた説明に、参加者は理解を深めることができた。

【弁護士向け研修】

- ・ 被害者支援に関心のある弁護士10名が受講した。
- ・ 性暴力被害の実態にみる支援の必要性や立法経緯、司法の現状等についての説明の他、被害者に対する事情聴取の手法や二次被害防止のため配慮すべき点等について具体的事例を挙げながら講義を受けた。
- ・ 受講者からは、これまで経験の少ない被害児やその保護者への聴取方法について質問が寄せられた他、本県のワンストップ支援センター開設後の弁護士の立場としての関わり方等について考える機会となった。

5. モデル事業実施後の課題（現状）

- ・ それぞれの研修を通じて、性暴力被害者支援の現状や支援のあり方等について理解を深めることができ、今後の支援活動の参考となった。
- ・ ワンストップ支援センター開設後も、引き続き職務関係者に対する研修を行うことにより、支援体制の充実を図ることが重要である。

